

技術審議会
長期維持管理技術委員会(2019年度 第2回)

RC床版の更新・修繕
に係る検討状況

阪神高速道路株式会社
2019年11月18日

協定の考え方

▶ 昭和48年より前の道示で設計され鋼板接着されたR C床版のうち、疲労耐久性の低下が懸念されるものに対し、その程度に応じて取替・部分補強・予防保全等の対策を行うこととする。

- 1) 鋼板接着補強R C床版については、劣化機構や維持管理履歴等を勘案の上、橋梁径間毎に健全度評価を実施して対策区分（大規模更新、大規模修繕）を判定する。
- 2) 対策区分の判定に際しては、適用設計基準、構造種別、床版厚、補修履歴、点検・調査の結果などを総合的に勘案の上検討する。
- 3) 対策区分の判定を確実にするため、必要に応じて詳細調査を実施する。

1) 対策区分の判定に際しては、下記の項目を評価して「大規模更新を検討」、「大規模修繕を検討」の2区分に分類する。

- ① 最新の点検結果
- ② 鋼桁種別
- ③ 損傷履歴
- ④ 劣化機構
- ⑤ 床版厚

なお、確実な判定を行うために必要な詳細調査を実施する。

2) 対策区分の決定に際しては、対象箇所隣接する径間の状況、当該路線の交通特性、工事実施に必要な交通規制など、工事実施上の課題も含め詳細検討を行う。